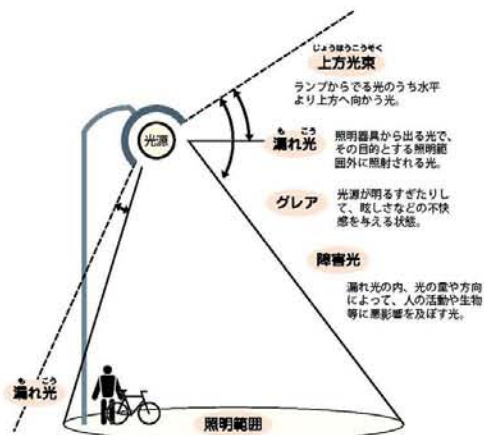


# 快適でここに良い光環境



## 周辺への悪影響のチェック項目

- 光が無駄に漏れていないか
- 歩行者・運転者の目に直接光源の光が届く可能性はないか
- 運転者（自動車、自転車）が歩行者の視認に障害を生ずる可能性はないか
- 付近の信号、交通標識等に光が当たる可能性はないか
- 対面の居住施設等の住居者の目に直接、光が届く可能性はないか（居住者への睡眠等の生活の妨げになる可能性はないか）
- 周辺で天文観察などの研究活動は行われていないか
- 周辺で農作物、家畜が存在しそれらに対し直接、光が届く可能性はないか
- 野生動植物が生息している地域に隣接していないか

光害をなくして省エネの第1歩



私たちを取り巻く様々な分野で、自然のままにあるべき大切さが見直される時代を迎えています。光や照明に関する環境もただ明るければよいという時代は終わりを告げました。

私たちの生活にとって必要な光を十分確保した上で、不要な光をできるだけ抑さえ、周辺環境や景観への配慮が十分にされた、よりよい光環境を創りだしていくための取組（光害防止への取組）を進めていく必要があります。

